

令和7年度 事業報告書

社会福祉法人
小山市社会福祉協議会

目 次

1. 地域福祉の意識づくり・ひとづくり

1-1. 地域福祉について知ろう・参加しよう

- (1) 広報活動事業 1
- (2) 小山市社会福祉協議会表彰 1
- (3) 第12回「ふくし」の標語コンクールの開催 1

1-2. 福祉の心を育もう

- (1) 福祉用具貸出しと福祉教育講師派遣 2
- (2) 福祉教育協力校補助事業 2
- (3) サマーボランティアスクール事業 2
- (4) 福祉×スポーツフェスティバル事業 3

1-3. 地域福祉活動を実践しよう

- (1) ボランティア養成講座事業 3
- (2) ボランティア入門講座事業 4
- (3) おやまお助け隊(個人ボランティア)、ボランティアサークルの状況 4
- (4) 社協ボランティアセンターの運営 4
- (5) おしゃべりダイヤル 5
- (6) 傾聴ルームおやま 5

2. 地域で支え合うしくみづくり

2-1. 支え合える地域をつくろう

- (1) 地区社会福祉協議会の設立・活動推進 6
- (2) 生活支援体制整備事業(市受託) 8

2-2. 地域のつながり・交流の場を広げよう

- (1) おもちゃ図書館の開館 11
- (2) 児童遊び場整備事業 11
- (3) ひとり暮らし高齢者友愛訪問事業 11

2-3. 必要な人に情報や支援をつなげよう

- (1) 心配ごと相談事業(一部市受託) 12
- (2) 生活福祉資金貸付事業(県社協受託) 13
- (3) 緊急生活一時資金貸付事業 13
- (4) 緊急食料等支援事業 14
- (5) 赤い羽根緊急生活支援商品券支給事業 14
- (6) 低所得世帯入学児童支援事業 14
- (7) 災害見舞金支給事業 14

(8) 視覚障がい者への「声の広報」の発行	14
(9) こども発達支援センター「たんぽぽ園」(一部市受託)	15
(10) 相談支援事業所「さくら」	16
(11) 日常生活自立支援事業(あすてらす おやま)(県社協受託)	16
(12) 成年後見制度利用支援事業(市受託)	16
(13) 市民後見推進事業/成年後見制度利用促進事業(市受託)	17
(14) 法人後見事業	18
(15) 基幹型/高齢者サポートセンター小山総合の運営(市受託)	18
(16) ホームヘルプサービス事業	19
(17) 在宅介護支援センター	19
(18) 善意銀行の運営	20

2-4. 協働の輪を広げよう

(1) 社協会員会費募集	20
(2) 共同募金運動の推進	21
(3) どんぐり基金(地域福祉振興基金)の造成	21

3. 安全で安心して暮らせるまちづくり

3-1. 誰もが住みやすいまちをつくろう

(1) 車椅子・車椅子移送車貸出事業	22
--------------------------	----

3-2. 災害時に助け合えるまちをつくろう

(1) 災害ボランティア活動推進事業	22
--------------------------	----

4. 地域に根づいた法人の運営

4-1. 責任ある法人運営

(1) 理事会、評議員会、委員会の開催	23
---------------------------	----

その他

(1) 日本赤十字社事業	25
--------------------	----

資料

小山市社会福祉協議会善意銀行寄付者・払出先明細	27
令和7年度地域福祉振興基金(どんぐり基金)寄付受入明細書	29

事業報告附属明細書	31
-----------------	----

1. 地域福祉の意識づくり・ひとづくり

1-1. 地域福祉について知ろう・参加しよう

(1) 広報活動事業

① 社協だより「ふれあい」の発行

広報委員会を中心に、分かりやすく親しまれる広報誌の作成に力を入れ、本会のPRと活動への参加を呼び掛けました。

発行月日	方 法
6/1・9/1・12/1・3/1	全世帯に配布（55,000部発行／回）

② ホームページの運営、SNSを活用した情報発信

ホームページを通して積極的な情報提供に努めたほか、SNS（Facebook・Instagram）や市の広報誌、新聞等を利用して啓発活動を進めました。

情報発信回数	ホームページ：68回	Facebook：43回	Instagram：31回
--------	------------	--------------	---------------

(2) 小山市社会福祉協議会表彰

開催日/会場	表彰受賞者
3月26日（木） 小山市健康医療介護総合支援 センター研修室	社会福祉功労者：30人 どんぐり基金寄付者：12件 善意銀行寄付者：2件 「ふくし」の標語コンクール入賞者：12人

(3) 第12回「ふくし」の標語コンクールの開催

期 間	区 分	応募総数	結 果
9月5日（金）～ 10月17日（金）	小 学 生	43点	最優秀作品1点、優秀作品3点
	中 学 生	59点	最優秀作品1点、優秀作品3点
	一 般	41点	最優秀作品1点、優秀作品3点
	合 計	143点	

1-2. 福祉の心を育もう

(1)福祉用具貸出しと福祉教育講師派遣

①福祉用具貸出し

区 分	貸出件数		貸出器材内訳					
	校数	回数	点字盤	車椅子	アイマスク	高齢者体験	白杖	ビデオ
小学校	18校	30回	255個	73台	101個	68組	131本	-
中学校	1校	1回	-	-	-	7組	-	-
その他	6団体	4回	20個	-	4個	9組	4本	-
合 計	25校	35回	275個	73台	105個	84組	135本	-

②福祉教育講師派遣

区 分	校 数	手話講師派遣		点字講師派遣		当事者派遣他		合 計	
		回数	延人数	回数	延人数	回数	延人数	回数	延人数
小学校	10校	9回	47人	8回	22人	2回	2人	19回	71人
中学校	1校	1回	3人	-	-	-	-	1回	3人
その他	3校	15回	46人	2回	6人	-	-	17回	52人
合 計	14校	25回	96人	10回	28人	2回	2人	37回	126人

(2)福祉教育協力校補助事業

区 分	校 数	補助額
小 学 校	22校	453,000 円
中 学 校	3校	60,000 円
義務教育学校	1校	25,000 円
高 等 学 校	4校	108,000 円
合 計	30校	646,000 円

(3)サマーボランティアスクール事業

①小学生親子（4年生以上）サマー・ウィンターボランティアスクール

開催日/会場	内 容	協力機関・団体	参加者
7月19日(土) 健康医療介護総合 支援センター 研修室	視覚障がいについて学ぼう ア. 盲導犬についてのお話しと体験歩行 イ. 点字の手打ち体験 ウ. 学習シートによる事前学習、 振り返り	東日本盲導犬協会 小山点友会 虹の和会	30組 60人
12月6日(土) 小山市総合福祉 センター 4階 作業室	ゲーム形式での疑似体験 ア. 視覚障がい者体験 イ. 聴覚障がい者 エ. 高齢者 ウ. 学習シートによる振り返り	なし	7組 15人

②中学生（2年生以上）・義務教育学校（8年生以上）・高校生サマーボランティアスクール

日 程	内 容	学習内容・協力施設等	参加者
7月30日(水)	開 講 式	ボランティアの心得、施設体験の事前学習	47 人
7月31日(木) ～8月7日(木)	施設体験学習 (2日間)	サンフラワーグループホーム、デイサービスセンター富士見荘、穂の香苑、サンフラワー療護園、くわの実、第2くわの実、小山ひまわり、ラベンダーハウス、たんぽぽ園、やはた保育所、城北保育所、もみじ保育所【協力施設数：12施設】	
8月8日(金)	閉 講 式	まとめ、体験レポート作成、グループ発表	

(4)福祉×スポーツフェスティバル事業

開催日	11月2日(日)
会場	小山市立体育館 メインアリーナ
内容	①ユニバーサルスポーツコーナー（車いすバスケットボール・モルック・ボッチャ） ②昔あそび体験コーナー ③共同募金コーナー
協力機関・団体	栃木レイカーズ 栃木モルック fan 昔あそびボランティア会
ゲスト	開運戦士プレイバーン モルック戦士キャプテンモルフィン 開運★おやまくま
ボランティア	21 人
来場者	186 人（うち 体験：140 人、見学 46 人）

1-3. 地域福祉活動を実践しよう

(1)ボランティア養成講座事業

於：小山市総合福祉センター、しらさぎ館

講座名	期 間	回数	協力団体	参加者
手 話 初 級 講 座	4/17～7/24(木曜 昼)	15 回	手話サークル 環	9 人
手 話 初 級 講 座	5/7～7/9(水曜 夜)	10 回	手話サークル 彩	3 人
手 話 入 門 講 座	4/17～9/25(木曜 夜)	23 回	手話サークル 光里の環	17 人
点 訳 入 門 講 座	5/13～8/26(火曜 昼)	15 回	小山点友会	4 人
パソコン点訳初級講座	5/13～9/30(火曜 夜)	20 回	福朗の会	3 人
オ カ リ ナ 講 座	4/16～10/15(水曜 昼)	15 回	サークル オカリナ	14 人
音訳ボランティア養成 初級講座	10/7～12/9(火曜 昼)	10 回	郭公の会	4 人
要約筆記入門講座	2/3～3/3(火曜 昼)	5 回	おやま OHP	4 人
8講座(手話3、点訳2、オカリナ1、音訳1、要約筆記1)		113 回	8 団体	58 人

(2)ボランティア入門講座事業

開催日/会場	内 容	協力機関・団体	参加者
7月11日(金) コワーキングスペース SEKEN	コワーキングスペース SEKEN で学ぶ ふくしの夜活 「Boccia Night II」 ユニバーサルスポーツから福祉理解を図る	コワーキングスペース SEKEN	4人
12月15日(月) 23日(月)24日 (火) 小山市市民活動 センター	もっと伝わる!チラシ作り講座 講義編: チラシを学ぼう(12/15) 実践編: Canva を学ぼう(12/23.24)	小山市市民活動センタ ー	12人 10人 4人

(3)おやまお助け隊(個人ボランティア)、ボランティアサークルの状況

項 目	登録数	活動費助成
おやまお助け隊(個人ボランティア)	50人	-
ボランティアサークル	31団体(1,137人)	計 549,000 円を助成

(4)社協ボランティアセンターの運営

①ボランティアの相談・斡旋、登録団体等への支援状況

項 目	件 数
ボランティア活動の相談	32件
ボランティア要請の相談	11件
登録団体の活動支援 (活動場所調整、情報提供、視察研修、 物品・助成金申請・記念誌発行支援等)	随時

②ボランティア保険取扱い

種 類	取扱件数		
	団体加入	個人加入	加入者合計
ボランティア活動保険	30団体	20人	1,883人
ボランティア行事用保険	5団体	-	842人
福祉サービス総合補償	8団体	-	36,001人
送迎サービス補償	8団体	-	1,531人
合 計	51団体	20人	40,257人

(5)おしゃべりダイヤル

新型コロナウイルスの感染拡大により、地域活動や交流事業が休止となったことにより地域住民のふれあい、安否確認、情報交換の場が失われたことに対して、小山市傾聴ボランティア協議会の協力を得て、小山市市民活動センターと共催により電話傾聴を通じた“つながりづくり”を行いました。

開設日時	毎週 月・金曜日 午後1時～4時（祝・祭日は休止）
活動状況	利用件数：延べ352人 協力ボランティア数：7人

(6)傾聴ルームおやま

日曜日に対面での傾聴活動を行うことで、おしゃべりダイヤルを利用できない方にも傾聴を行う場を提供し、健康維持や安全・安心な生活に寄与することを目的として実施しました。

開設日時	奇数月第2日曜日 午前10時～12時
活動状況	利用件数：延べ7人 協力ボランティア数：4人

2. 地域で支え合うしくみづくり

2-1. 支え合える地域をつくろう

(1)地区社会福祉協議会の設立・活動推進

地域住民が地域の生活・福祉課題を共有し、地域の助け合いによって課題を解決し、住民主体の地域福祉活動を推進するために、市内11地区に地区社会福祉協議会を設置し、活動費の助成、各地区の状況に応じた支援を行いました。

地区名	活動内容
小山北部地区 (H18.8.26 設立)	見守りキーホルダー配布(10月～) 地域活動への助成金交付
小山東部地区 (H18.8.26 設立)	高齢者と子供のふれあい事業(8月) 研修会の開催(2月) 一人暮らし高齢者宅(80歳以上)友愛訪問(1月～2月)
小山中部地区 (H18.8.30 設立)	地域活動への助成金交付
小山南部地区 (H18.9.5 設立)	南部だより第7号発行(8月) 視察研修会(11月) 一人暮らし・高齢者夫婦世帯(75歳以上)友愛訪問(10月～11月) 見守り活動情報交換会の開催(2月)
大谷地区 (H15.12.14 設立)	おおや社協だより「大谷きずな」発行(58号・59号) 地区社協PR活動(おはやしステージ城東・あいとぴあまつり) 他団体交流(地域包括支援センターオンライン研修会・高サポ大谷意見交換会) 先進地の視察・交流(大田原市佐久山地区社協訪問) 寝たきり老人紙おむつ券給付事業(申請:3千円×69件) 一人暮らし高齢者等お昼を一緒に食べる会(20回・延332人参加) 地域美化・環境整備支援(大谷地区内6小学校) 「月曜カフェ」の開催(毎週月曜日)(40回・延506人参加) 高齢者等の日常生活支援事業(活動件数171件、活動延人数385人) ・病院送迎、傾聴、買い物支援他 ・一人暮らし高齢者等お昼を一緒に食べる会支援(調理、送迎、傾聴) ・〃 送迎ボランティア協力(栗林荘、ケアネット) 地区内小中学校ボランティア支援(三中ひまわりの種袋詰め支援) ボランティア交流(研修・親睦)会(栗林荘見学・南部清掃センター見学、ボランティア懇談会) 登録ボランティアを増やす活動(おはやしステージ・あいとぴあまつり) 地域福祉コーディネーターによる相談対応「暮らしの相談室」(17件) 総会、運委委員会、幹事会その他事業に関連する会議の開催 他団体の視察来訪対応(足利市山辺地区社協・大田原市川西地区協議体)

地区名	活動内容
間々田地区 (H15.1.17 設立)	地域ボランティア会活動の推進と助成金交付 (友愛訪問、清掃活動、敬老会、福祉施設訪問、子育て支援、研修会等) 間々田地区社協だより(第4号)の発行 間々田地区社協 講演会(12月)
豊田地区 (H14.6.1 設立)	親子ふれあい旅(8月) 三世代交流福祉事業への助成金交付 「ふくしとよだ」の発行(第31号) 支え合い活動アンケート結果地域説明会(2月)
桑地区 (H14.7.30 設立)	「楽しく学ぶ認知症予防講座」(10月) 「楽しい健康づくりの集い」(3月) 見守り安心サポーター事業 桑地区高齢者見守り訪問事業 夏休みの思い出作り!みんなで遊ぼう~桑子連夏まつり~(8月) 第3回ジャンボかるた大会(11月)
中地区 (H25.5.19 設立)	中地区たすけあい事業「だけボラ」(活動回数16回) 中ふくしだより発行(第16号) いきいきふれあいさくらとの交流会(48名) 中公民館まつりへの参加(パネル展示) 中地区一斉清掃への参加 視察研修会 第2期 中地区社協活動計画の推進
寒川地区 (H25.5.30 設立)	標語コンクール、寒川ウォーキング、どんどん焼き、グラウンドゴルフ、 輪投げ・ペタンク大会、寒川公民館まつり輪投げ大会協力
絹地区 (H27.3.4 設立)	絹地区移動支援事業「のらっせ・きぬ」(活動回数79回) 送迎ボランティア会議(9月) 緊急医療安心キットの配布(11世帯17名) グラウンドゴルフ大会(3月) 絹地区社協だより発行(12号) 福祉学習会の開催(17名)

(2)生活支援体制整備事業（市受託事業）

高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けるために、市と連携を図りながら地域のお宝である「見守り・ささえあい活動」について情報共有や連携を深め、支援や交流の場の充実を図りました。第1層協議体会議では、犬塚自治会で「高齢者のゴミ出しに関する困りごとについて」の実態調査を行い、3年間のまとめとして、「高齢者のゴミ出し支援を中心とした見守り・支え合いに関する報告書・提言書」を市長に提出することができました。

① 第1層協議体会議の開催（アドバイザーチーム5名、委員11名）

	実施日	内 容（詳 細）
第1回	5/29	会議 「ゴミに関する問題課題検討」 ・旭町東自治会の事例発表 ・今後のスケジュールリング ・犬塚自治会の地域で実態調査（アンケート）決定
第2回	7/24	作業 「犬塚自治会に向けてアンケート調査票の配布準備作業」 ・アンケート仕分けと袋詰め作業 ・「ゴミ出し支援の要件と支援範囲について」意見票の配布
第3回	10/22	会議 「高齢者のゴミ出しに関する困りごとについて」実態調査結果報告 ・アンケート集計と分析内容の報告 ・「ゴミ出し支援の要件と支援範囲について」各委員ごとに意見発表
第4回	11/27	会議 「ゴミ出し支援の要件と支援範囲について」まとめ（グループワーク） ・「高齢者のゴミ出し支援を中心とした見守り・支え合いに関する報告書・点原書（案）」事務局が作成した資料を配布
第5回	1/22	会議 「高齢者のゴミ出し支援を中心とした見守り・支え合いに関する報告書・提言書」（案）について ・これまでの協議内容を整理し、資料の最終検討とチラシデザインの検討。3月の全体会後に市長へ提出予定で協議
第6回	3/23	全体会 「高齢者のゴミ出し支援を中心とした見守り・支え合いに関する報告書・提言書」完成 ・前回の会議で報告書・提言書内容を各委員が持ち帰り2月中旬までに提出された意見書を反映し、3年間の成果物として作成した資料をアドバイザーと共に確認

②外出を支え隊運営事業

高齢者の通院支援を目的としたボランティア活動です。

利用者数 45 人、ボランティア数 24 人、延べ利用 件数 196 件

③「認定ドライバー養成研修」

外出を支え隊運営事業に必要なボランティアドライバーの養成を目的に実施しました。

令和7年6月15日(日)～16日(月) 参加者数 13 人

（研修後5人が外出を支え隊ボランティアに登録）

④栃木ダイハツとの共催講座「健康安全運転講座」

実 施 日	内 容	協 力 機 関	参加者
5月15日(木)	・体力測定・認知力アップトレーニング ・正しい運転姿勢と死角の確認	栃木県理学療法士会 日本自動車連盟	22 人
11月6日(木)	・衝突回避システムの体験	栃木ダイハツ小山店	13 人

⑤買物支援事業

スーパーでお買い物をしながら地域の交流を増やすとともに自然な形の見守りにつなげる支援。市内の 7 か所（6 自治会 1 グループ）で月 2 回程、実施しています。福祉事業所の協力を得て、自宅⇄スーパーの送迎を行い、ボランティアさんがスーパーでお買い物のサポートをしています。（※送迎に自家用車を使用している地区もあります。）下記の日程で会議を開催しました。

会 議 日	会 議 名	場 所
4/17 7/17 12/18	宮内町お買い物支援会議	宮内町自治会
6/13	お買い物支援団体意見交換会	高サボ桑絹、 喜沢中部自治会
6/18 9/3 1/21	外城お買い物支援会議	外城自治会
9/24 3/11	県営羽川住宅お買い物支援会議	県営羽川住宅自治会
3/3	神鳥谷お買い物支援会議	高サボ小山、 神鳥谷お買い物支援ボランティア

⑥「生活支援ボランティア入門編講座」10月7日(火)～10月28日(火)開催

生活支援ボランティアの養成を目的に 4 回講座で開催しました。参加者数 18 人

開催回/日	内 容	講 師
第 1 回 10 月 7 日(火)	「小山市の高齢者の状況」 「高齢者の体の変化と支援の注意点」	小山市高齢生きがい課保健師 医師 島田 潤子 氏
第 2 回 10 月 14 日(火)	「ボランティア活動をするにあたって」	白鷗大学名誉教授 結城 史隆 氏 市民活動センター おやま～る 小針 協子 氏
第 3 回 10 月 21 日(火)	「期待される生活支援ボランティア」 「居場所から広がる支え合い活動と 信頼をつくるコミュニケーション力」	第 1 層生活支援コーディネーター NPO 法人 福聚会 代表 青田 賢之 氏
第 4 回 10 月 28 日(火)	生活支援ボランティア活動の紹介	送迎支援、買い物支援、地域食堂、 民生委員のボランティアさん

⑦「生活支援ボランティア活用編講座」12月16日(火)開催

入門編の終了者向けに、今後の活動に向けボランティア団体の紹介と活動団体の見学を実施しました。

内 容	協力機関・団体	参加者
登録ボランティア団体の紹介	大谷地区社協 NPO 法人 ナルク ふれあいコープ おたがいさま 小山市社会福祉協議会登録ボランティアセンター	11 人
活動見学・施設訪問	市民活動センター 「おやま～る」 城東常設型サロン 「じゃあ またね」	

⑧TV おやま「ふれあいネット」による啓発活動

取材月	取 材 内 容
5 月	ダイハツ健康安全運転講座
6 月	ドライバー養成研修
10 月	生活支援ボランティア入門編講座
11 月	光明寺 100 歳体操
12 月	間々田 美しが丘自治会「友の会・歩みの会」

⑨生活支援コーディネーター研修会・交流会等

実 施 日	会 議 ・ 研 修 名	主 催 等
4/2	サロン引越し手伝い	城東常設型サロン 「じゃあ またね」
4 月～5 月	2 層 SC 地域別対話	小山市社協
5/22	サロン総会	城東常設型サロン 「じゃあ またね」
5/23	大谷地区社協ごはんを一緒に食べよう会見学	大谷地区社協
6/1	サロンバザー	城東常設型サロン 「じゃあ またね」
6/2	近隣市町社協 SC 情報交換会	古河市社協
8/27	大谷地区地域ケア会議	高サポ大谷
9/16	近隣市町社協 SC 情報交換会	結城市社協
10/14～24	いきがい・助け合いオンラインフェスタ (Zoom)	さわやか福祉財団
11/5	わいがや！～つながろう栃木の SC！座談会 2025～	栃木県社協
11/29	サロン 3 周年	城東常設型サロン 「じゃあ またね」
12/1	現任者研修	栃木県社協
12/9	近隣市町社協 SC 情報交換会	野木町社協
12/16～17	生活支援体制整備事業情報交換会 on R50	栃木市社協、栃木県社協、厚労省
2/3	送迎支援に関する研修会 (zoom)	高サポ大谷
2/14	南部地区見守り活動情報交換会	南部地区社協
2/21	豊田地区まちづくり勉強会	豊田地区社協
2/27	住民主体の地域支え合い推進フォーラム	栃木県社協

※SC：生活支援コーディネーター

⑩2 層生活支援体制整備事業

高齢者サポートセンターに第2層生活支援コーディネーターを配置しており、令和7年度の活動内容として、立ち上げ支援・情報収集・活動継続支援を行いました。

活 動	内 容
立ち上げ支援	・天神町にある SONPO ケア（訪問介護・居宅介護支援事業所）の事務所の1画を借り介護予防教室を開催できるよう支援を行う。
情報収集	・天神町の実態把握調査を実施し SONPO ケアの介護予防教室の開催 PR を兼ねて行う。
活動継続支援	・地域の活動グループ（百歳体操7か所、若木花垣本郷町買物支援・認知症カフェ（フレンド））に出向き、介護予防教室を開催するなど関係が切れないよう支援を行う。 ・地域との連携で自治会・民生委員・健康推進員・地区社協・NPO 法人など随時連携を行う。

2-2. 地域のつながり・交流の場を広げよう

(1)おもちゃ図書館の開館

昭和61年9月に、心身障がい児を対象として、障がい児の相互の交流を図りながら遊びを創造し、子ども達の成長・発達を支援していくことを目的として開設し、ボランティアグループ「ピノキオ」の協力を得て運営を行ってきました。

現在では、広く一般のお子さんをも対象に開館しており、学生ボランティアの参加も得ながら、沢山の親子がおもちゃを通して交流を図ることのできる場となっています。

開設日時	毎月第1土曜日 午前10時～12時半、午後1時15分～午後3時 (祝・祭日は休館)
開設場所	こども発達支援センター「たんぽぽ園」(神鳥谷934-3)
活動状況	利用者数：延966人 協力ボランティア数：延86人

(2)児童遊び場整備事業

各自治会で管理する児童の遊び場の整備について、共同募金より助成金を交付いたしました。

自治会名	助成額	総額
白鳥自治会	遊具塗装：99,000円	99,000円

(3)ひとり暮らし高齢者友愛訪問事業

老人クラブ、地域ボランティア会の協力を得て、孤立しがちな75歳以上のひとり暮らし高齢者を対象に、社会とのふれあいをもってもらい、地域のあたたかい気持ちを伝えることを目的として、会員が日用品等を届けながら月2回程度訪問する友愛訪問事業を実施しました。

地区名	実施クラブ	対象者数(人)			地区名	実施クラブ	対象者数(人)		
		男	女	計			男	女	計
小山地区	1ヶ所	-	7	7	豊田地区	1ヶ所	0	4	4
大谷地区	3ヶ所	4	7	11	桑地区	3ヶ所	5	10	15
間々田地区	2ヶ所	6	10	16	絹地区	1ヶ所	1	1	2
生井地区	-	-	-	-	小計	13ヶ所	17	43	60
寒川地区	1ヶ所	-	2	2					
中地区	-	-	-	-	自治会V会	4ヶ所	10	26	36
穂積地区	1ヶ所	1	2	3	合計	21ヶ所	27	69	96

2-3. 必要な人に情報や支援をつなげよう

(1)心配ごと相談事業（一部市受託事業）

社会生活の中で生ずる諸問題について、相談員（民生委員児童委員、学識経験者）が市民からの相談に応じ、問題解決の手助けを行っています。

・開設日時：毎週火曜日

第1・3・5週 午前10時～12時

第2・4週 午前10時～午後3時（毎月第2・4週の午前中は法律相談）

・場 所：小山市総合福祉センター 心配ごと相談室（中央町2-2-21）

ア. 相談実施状況

項 目	一般相談	法律相談	合 計
開設日数	26日(延相談員数52人)	22日(延相談員数44人)	48日(延相談員数96人)
相談件数	40件(内電話相談9件)	98件	138件(内電話相談9件)

NO	相談種別	件数	割合	NO	相談種別	件数	割合
1	財産問題	27件	19.6%	11	精神衛生問題	2件	1.4%
2	離婚問題	11件	8.0%	12	医療問題	1件	0.7%
3	家族問題	31件	22.5%	13	母子・父子福祉問題	1件	0.7%
4	住宅問題	15件	10.9%	14	年金問題	-	-
5	生計問題	17件	12.3%	15	健康・衛生問題	-	-
6	苦情問題	7件	5.1%	16	児童福祉・母子保健問題	-	-
7	職業・生業問題	3件	2.2%	17	教育・青少年問題	-	-
8	事故問題	3件	2.2%	18	心身障がい者(児)福祉問題	2件	1.4%
9	人権・法律問題	8件	5.8%	19	高齢者福祉問題	-	-
10	結婚問題	-	-	20	その他	10件	7.2%
相 談 件 数 合 計						138件	100%

(2) 生活福祉資金貸付事業（栃木県社会福祉協議会受託事業）

低所得世帯、身体障がい者世帯、失業等により生活が困難な世帯を対象に、経済的自立を支援し、生活意欲の助長を図ることを目的として貸付を行いました。また、新型コロナウイルス感染症特例貸付を受けた借受人のうち、償還困難な方に対して、架電や訪問等による生活状況調査を行いました。生活状況調査後、償還猶予の相談・申請、少額返済等のフォローアップ支援業務を行いました。実施主体は県社協で、本会は生活福祉資金貸付申請書類の受理、償還指導、予備審査等の直接的な事務を担当しました。

生活福祉資金貸付件数

資金種別	貸付件数	貸付金額(円)
総合支援資金	-	-
福祉資金	1	87,000 円
教育支援資金	2	752,300 円
その他	-	-
合計	3 件	839,300 円

新型コロナウイルス感染症 特例貸付状況

小山市在住の方の貸付状況（令和 8 年 1 月時点）

貸付種類	緊急小口	総合（初回）	総合（延長）	総合（再貸）
件数	2369 件	1921 件	241 件	913 件

新型コロナウイルス感染症 特例貸付相談件数

償還が困難な借受人へのフォローアップ支援

方法	電話（受電）	電話（架電）	訪問	来所による窓口対応
人数（延べ）	462 人	717 人	94 人	139 人

フォローアップ支援内容

支援内容	償還猶予相談受付人数	少額・増額返済相談を県社会福祉協議会に繋いだ人数	食料支援実施件数
人数（延べ）	12 人	27 人	20 人

(3) 緊急生活一時資金貸付事業

一時的な理由で低所得となっている世帯に対して、食糧支援では問題の解決に至らないと判断した場合に生活のつなぎとして少額の資金を貸付を行いました。

【緊急生活一時資金貸付・償還状況】（償還金額は令和 7 年度以前の貸付分を含む）

	貸付件数	貸付金額	償還件数	償還金額
令和 7 年度	11 件	105,000 円	22 件	108,000 円

(4)緊急食料等支援事業

NPO法人フードバンクとちぎ、道の駅思川、民間企業等との連携や、市民の方からの寄付により調達した食料を、生活が困窮し食料等の確保に逼迫している世帯に支給しました。

受入量	提供量	支援世帯数
1832kg	1,749kg	159 世帯

(5)赤い羽根緊急生活支援商品券支給事業

止むを得ない事情により生計を維持できなくなってしまった世帯等に対し、赤い羽根共同募金を活用した、全国共通商品券を支給しました。

	支給回数	金額	世帯数
令和7年度	12 回	60,000 円	12 世帯

(6)低所得世帯入学児童支援事業

小学校に入学する生活保護世帯の児童に対し、ランドセルを贈り就学を支援していますが、今年度の対象支援児童はいませんでした。

(7)災害見舞金支給事業

災害救助法の適用にならなかった小災害の罹災6世帯に対して、110,000円を見舞金として贈りました。(全焼5件100,000、半壊1件1,0000円)

(8)視覚障がい者への「声の広報」の発行

視覚障がい者を対象に、「広報おやま」「市議会だより」「社協だより」「警察だより」等の情報を、ボランティアグループ「郭公の会」の協力を得てCDにデジタイズ録音し、毎月無料で発行しています。約20人の利用者がおり、視覚障がい者の貴重な情報源となっています。

(9)こども発達支援センター「たんぽぽ園」

①児童発達支援事業（一部市受託事業）

小山市こども発達支援センター「たんぽぽ園」は、小山市・石橋町・国分寺町・野木町を対象地区として、昭和43年6月に母子通園ホームとして発足し、平成11年度からは上三川町・南河内町を加え、1市5町の身体障がい児福祉の中核施設としての役割を担ってきました。

その後、在籍児童数が急増したことにより、それぞれ独立し、肢体不自由児、知的障がい児、その他障がいを持つ子どもたちや発達に心配のある子どもたちに、療育訓練を行っています。

平成28年8月からは、開設場所をこれまでの市保健福祉センター内から、あけぼの保育所仮園舎跡（神鳥谷934-3）に移し、療育を行っています。

【契約幼児の状況】(R8.3.31現在)

ア. 市町別幼児数

小山市	他市町	計
45 人	0 人	45 人

イ. 年齢別幼児数

0 歳児	1 歳児	2 歳児	3 歳児	4 歳児	5 歳児	計
0 人	1 人	8 人	12 人	8 人	16 人	45 人

ウ. 障がいの特性別幼児数

肢体不自由	知的な遅れ	自閉症スペクトラム(疑い含む)	その他	計
1 人	4 人	40 人	0 人	45 人

②放課後等デイサービス事業

平成 28 年 11 月から、就学児を対象に、学校終了後又は夏休み等の長期休業日に、生活能力の向上のため必要な訓練を行ったり、社会との交流促進を図り学校や家庭とは異なる交流、体験を通じて発達支援を行う「放課後等デイサービス事業」を開始しました。

【契約児童の状況】(R8.3.31 現在)

ア. 市町別児童数

小山市	他市	計
31 人	1 人	32 人

イ. 学年別・所属別児童数

1 年生	2 年生	3 年生	4 年生	5 年生	6 年生	計
10 人	8 人	4 人	4 人	2 人	4 人	32 人
普通学級		特別支援学級		特別支援学校		計
4 人		21 人		7 人		32 人

ウ. 障がいの特性別児童数

肢体不自由	知的な遅れ	自閉症スペクトラム(疑い含む)	計
1 人	10 人	21 人	32 人

【小山市こども発達支援センター「たんぽぽ園」利用状況】

年月	児童発達支援						放課後等デイサービス					
	前月末	新規	退園	月末	延べ 人数	開設 日数	前月末	新規	退園	月末	延べ 人数	開設 日数
R7.4	32	2	1	33	146	20	26	10	0	36	155	20
R7.5	33	1	0	34	181	20	36	0	1	35	177	20
R7.6	34	0	0	34	182	21	35	0	0	35	168	21
R7.7	34	1	1	34	181	22	35	0	0	35	162	22
R7.8	34	1	1	34	148	20	35	0	0	35	139	20
R7.9	34	0	1	33	171	20	35	0	1	34	161	20
R7.10	33	2	0	35	195	22	34	0	1	33	161	22
R7.11	35	2	0	37	163	18	33	0	1	32	123	18
R7.12	37	1	1	37	173	20	32	0	0	32	136	20
R8.1	37	2	0	39	188	19	32	0	0	32	142	19
R8.2	39	4	0	43	195	18	32	0	0	32	123	18
R8.3	43	2	18	27	216	21	33	0	6	26	147	21
合計	***	18	23	***	2139	241	***	10	10	***	1794	241

(10)相談支援事業所「さくら」

障がい児・者とその家族からの相談に応じ、利用者の意志を尊重し、適切なサービスが利用できるよう福祉サービス等の利用計画を作成するとともに、利用者が可能な限り自立した日常生活・社会生活を送ることができるよう支援しました。

契約人数		相談件数	
障がい児	93 人	電 話	817 件
障がい者	4 人	訪問・面談	629 件
合 計	97 人	合 計	1,446 件

(11)日常生活自立支援事業（あすてらす おやま）（栃木県社会福祉協議会受託事業）

平成 11 年 10 月から、栃木県社会福祉協議会から事業委託を受け、認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者など、判断能力に不安のある方が自立した地域生活を送れるよう、福祉サービスの利用援助、日常的金銭管理サービス、書類の預かりサービス等の相談・支援を行いました。

ア. 利用者数

前年度末利用者数	契約件数	解約件数	年度末利用者数
85 人	10 人	12 人	83 人

イ. 状況別利用者数

認知症高齢者等	知的障害者	精神障害者	その他	計
35 人	23 人	25 人	0 人	83 人

ウ. 年齢別利用者数

59 歳まで	60 歳代	70 歳代	80 歳代	90 歳以上	計
27 人	22 人	16 人	14 人	4 人	83 人

エ. 相談援助・支援件数

相談援助件数 【電話や来所による相談および サービスを伴わない訪問の件数】	支援件数 【福祉サービスの利用援助および 日常的金銭管理サービスの支援回数】
3,298 件	1,254 件

オ. 支援件数内訳

専門員	生活支援員	合 計
331 件	923 件	1,254 件

(12)成年後見制度利用支援事業（市受託事業）

成年後見制度に関する相談、適切な機関へのつなぎ等の必要な支援を行うとともに、市長申立や費用助成の援助等を通し、必要な方が誰でも適切に制度を利用することができるよう、支援を行いました。

①相談支援の状況

初回 相談者数	初回相談方法			継続支援件数 (初回相談が 前年度以前)	総相談件数	総支援件 数
	来所	電話	メール・ 郵便等			
83 人	34 件	49 件	0 件	724 件	1,175 件	1,269 件

親族申立 支援件数	市長申立 支援件数	申立に至った件数			訪問 件数	費用助成件数		後見人等 からの相 談
		親族等 申立	市長 申立	計		後見人 報酬	申立 費用	
21 件	308 件	3 件	2 件	5 件	155 件	4 件	2 件	21 件

(13)市民後見推進事業／成年後見制度利用促進事業（市受託事業）

権利擁護支援の地域連携ネットワークの中核機関として、判断能力の低下した高齢者や障がい者等が安心して暮らすことのできる体制整備を推進するため、成年後見制度の普及・啓発業務、相談対応業務、成年後見制度の利用促進業務、後見人等の支援業務などを実施しました。

①『思いつむぎノート』の配布

配布部数	配 布 場 所
427 部	高齢者サポートセンター、市関係各課、出前講座受講者、希望者、相談者 等

②『権利擁護あんしんサポートブック』の配布

配布部数	配 布 場 所
638 部	高齢者サポートセンター、市関係各課、出前講座受講者、希望者、相談者 等

③ 出前講座の開催

講座名	実施回数	受講者数
「思いつむぎノート」書き方講座	4 回	143 人
知って安心！ 認知症への備えと予防	6 回	101 人
楽しくわかる 終活講座	3 回	51 人
合 計	13 回	295 人

(14)法人後見事業

本会が、判断能力が低下した方の成年後見人等として、財産管理と身上保護の支援をしています。

① 受任件数

(年度末件数)	総数	うち高齢者	うち障がい者
新規受任件数	0 件	0 件	0 件
受任中件数	4 件	0 件	4 件
累計受任件数	8 件	4 件	4 件
累計終了件数	4 件	4 件	0 件

② 法人後見運営会議の開催

開催日	報告・協議事項
2月12日(木)	- 法人後見事業の体制について - 受任中のケース概要について - 受任中のケースの検討事項

(15)基幹型地域包括センター／高齢者サポートセンター小山総合の運営（市受託事業）

①基幹型地域包括支援センター業務

平成27年度より、市内高齢者サポートセンターの基幹型として、市との連絡調整、各高齢者サポートセンターの統括、支援等を行い、高齢者サポートセンターの機能強化を図り、地域包括ケアを推進しました。

活動内容		回数
定例会（センター、主任ケアマネ、社会福祉士、保健師・看護師）		全44回
地域包括支援センター運営協議会		2回
自立支援サポート会議		2回（4ケース）
相談・支援	各高齢者サポートセンターへの相談支援	161件
	ケアマネジャー・事業所に対する相談支援	24件

②高齢者サポートセンター小山総合の業務

小山地区（北部・中部支部）の高齢者福祉の中核機関として、高齢者が住み慣れた地域で尊厳ある生活を継続することができるよう、様々な相談や要介護状態にならないような予防対策をはじめ、個々の状態に応じた介護予防プランの作成等の支援を行いました。

ア. 総合相談等業務

区分	実績	相談者内訳
新規相談実人数	641人	来所 151人、電話 490人、うち訪問 135人（再掲）
相談延人数	1,250人	来所 265人、電話 985人、うち訪問 448人（再掲）
実態把握調査	189件	

イ. 介護予防支援業務

区分	実績
介護予防教室開催	15回（参加者 237人）
介護予防プラン作成（直営）	1,130人
介護予防プラン作成（委託）	1,339人
事業対象者プラン作成	363人

(16)ホームヘルプサービス事業

平成 7 年 7 月に小山市からの受託事業としてスタートし、平成 11 年 4 月からは、小山市よりホームヘルパーの移管を受けて、介護保険と介護予防サービスの利用者、自立支援サービスの利用者に対して、食事や身の回りの世話、相談、助言等の各種サービスを提供しました。

ア. 対象世帯別サービス提供者数

対象世帯	人数	利用者内訳
介護保険、介護予防利用者	38 人	介護 16 人、介護予防 18 人、事業対象者 4 人
自立支援利用者	12 人	身体障がい 8 人、知的障がい 2 人、精神障がい 2 人、児童 0 人
同行援護、移動支援利用者	2 人	同行援護 1 人、移動支援 1 人
合 計	52 人	

イ. ホームヘルパー活動状況（常勤・登録別サービス提供時間）

区分	人数	訪問延日数	訪問延回数	訪問延時間
常勤ヘルパー	2 人	465 日	745 回	588 時間 50 分
登録ヘルパー	8 人	1,916 日	4,893 回	4,312 時間 50 分
計	10 人	2,381 日	5,638 回	4,901 時間 40 分

(17)在宅介護支援センター

平成 11 年 4 月にスタートし、平成 12 年度からは介護保険制度の導入に対応しながら、介護や保健福祉サービスなど各種相談に対応してきました。平成 18 年 4 月に介護保険法が改正され、「高齢者サポートセンター」が地域に密着した相談窓口を行うことになってからは、介護サービス計画（ケアプラン）や介護予防プランの作成を中心に行っています。

ア. 介護サービス計画及び介護予防プラン作成人数

区 分	実人数	延人数
介護サービス計画	34 人	424 人
介護予防プラン	14 人	148 人
合 計	48 人	572 人

対応実人数	対応延べ人数	対応内容
48 人	1,858 人	電話 1,204 人、来所 28 人、訪問 626 人

(18)善意銀行の運営

不要になった物や活動の収益で購入した物など、市民、団体、企業から善意により寄付された物品を、必要とする施設や個人に払い出す助け合いの活動を行っています。

(詳細は 27～28 ページ参照)

預 託 (延)		払 出 (延)	
個 人	25 件	個 人	2 件
団 体	9 件	団 体	32 件
合 計	34 件	合 計	34 件

2-4. 協働の輪を広げよう

(1)社協会員会費募集

市民総参加による地域福祉活動を推進するために、引き続き会員拡充に努め、自治会連合会、民生委員児童委員協議会等のご協力と多くの市民の方々のご理解により、次のとおり会員の加入を得ました。

◎会員加入の状況

会 員 数				会費納付額
普通会員	特別会員	法人会員	計	
27,136 口	654 口	174 口	27,964 口	9,671,001 円

◎地区別内訳

区分 地区	普通会員		特別会員		法人会員		その他 (円)	金額 (円)
	人数 (人)	口数 (口)	人数 (人)	口数 (口)	人数 (人)	口数 (口)		
小 山	9,322	9,322	197	198	50	50	3,002	3,246,101
大 谷	5,155	5,155	127	127	12	12	900	1,734,400
間々田	3,617	3,617	134	141	34	35	700	1,401,800
生 井	434	434	71	71	2	2		211,200
寒 川	375	375	48	34	1	1	1,400	152,900
豊 田	1,513	1,513	49	41	2	2	800	505,700
中	498	498	6	6	2	2		165,400
穂 積	498	498	2	2	1	1	100	156,500
桑	4,747	4,747	23	29	21	23	700	1,568,800
絹	977	977	4	4	1	1	100	302,200
社協扱			1	1	40	45		226,000
合 計	27,136	27,136	662	654	166	174	7,702	9,671,001

(2)共同募金運動の推進

毎年10月1日～12月31日の期間、全国一斉に募金活動が展開されます。小山市においても、戸別募金・職域募金・法人募金など様々な方法によりご協力をお願いしました。

集めた寄付金は、栃木県共同募金会に集約され、県内の民間社会福祉施設・団体等へ配分されるほか、本会を通じて市内の地域福祉活動に還元されます。

① 小山市における募金募集実績（令和7年度募金分）

募金種別	募金実績
戸別募金	17,939,908円
法人・篤志募金	1,572,132円
バッジ募金	288,600円
学校・職員・その他	637,713円
合 計	20,438,353円

② 募金配分実績（令和6年度募金分）

対象別		配分額	内 容
A	県共同募金会配分	7,695,000円	県内各種福祉施設・団体配分
B	高齢者事業	468,195円	友愛訪問事業、シニアライフアップ講座 団体への活動助成
	障がい児・者事業	240,000円	団体への活動費助成等
	児童・青少年事業	239,495円	児童遊び場整備事業、団体への活動助成
	住民全般事業	12,929,148円	福祉教育、ボランティア活動支援、災害ボ ランティア事業、外出支援事業、赤い羽根 商品券給付事業、食糧支援事業等、地区社 協事業
合 計		20,705,823円	

③ 災害見舞金支給事業

栃木県共同募金会緊急配分資金規定に基づき、小災害の罹災6世帯に対して、55,000円を見舞金として贈りました。（全焼5件、半壊1件）

(3)どんぐり基金(地域福祉振興基金)の造成

地域における民間福祉活動の推進並びにボランティア活動の振興を図るため、昭和56年3月に設置された本基金は、市民、自治会をはじめ、福祉基金協力会等の協力を得て造成運動を実施し、平成元年に1億円、平成4年に2億円を達成しました。これを期に自治会への戸別募金を終了し、現在では、団体や個人、募金箱の設置等による善意の寄付を受入れ、運用利息や基金の一部を取り崩し、ボランティア団体への活動補助金などへ還元しました。

なお、令和5年度から実施している「チャレンジ応援事業」については、令和7年度は2件の申請を受け付けています。

どんぐり基金積立状況（令和7年度寄付受入金の詳細は 29～30 ページ参照）

令和7年度寄付金	基金累計額	基金保有額
2,696,211 円	452,902,717 円	384,681,149 円

3. 安全で安心して暮らせるまちづくり

3-1. 誰もが住みやすいまちをつくろう

(1)車椅子・車椅子移送車貸出事業

介護保険による車椅子のレンタルが利用できない高齢者や、旅行や催しなどの際の短期間の利用希望に応えるため、車椅子を無償で貸し出し、在宅での生活を支援しました。

また、身体機能の低下や障がい等で一般の交通機関が利用できない方に対しては、車椅子移送車を貸し出し、社会参加や病院等への送迎を援助しました。

区 分	利用人数（延）	日数（延）
車 椅 子	248 人	7767 日
車椅子移送車	48 人	69 日

3-2. 災害時に助け合えるまちをつくろう

(1)災害ボランティア活動推進事業

災害ボランティア「超」入門講座（共催）

（於：小山市市民活動センター）

開催日	内 容	講 師	参加者数
6 月 21 日（土） 9：30～12：00	・災害ボランティア活動報告会 ・講義	にいがた災害ボランティアネットワーク 理事長 りじんてつ 李仁鉄 氏	10 人

未来のわたしを守る ゆるっと あそぼうさい Day！

（於：VAL おやま）

開催日	内 容	協力	参加者数
1 月 25 日（日） 10：00～15：00	・防災ボトル作成 ・各種展示	ステップアップ防災、 VAL おやま、 消防署、危機管理課	約 100 人

4. 地域に根づいた法人の運営

4-1. 責任ある法人運営

(1)理事会、評議員会、委員会の開催

①理事会

開催日	議 案
令和 7 年 6 月 3 日(火)	理事及び監事の推薦について（次期役員案） 令和 6 年度 小山市社会福祉協議会 事業報告について 令和 6 年度 小山市社会福祉協議会 決算について 令和 6 年度 決算における社会福祉充実計画について 令和 7 年度 小山市社会福祉協議会 資金収支補正予算（案）について 令和 7 年度 小山市社会福祉協議会 定時評議員会の招集について
令和 7 年 7 月 4 日(金)	会長、副会長及び常務理事の選定について 評議員選任・解任委員会の選任について 評議員選任・解任委員会の招集について 小山市社会福祉協議会評議員候補者の推薦について 第三者委員の選任について 委員会委員の指名について
令和 7 年 12 月 18 日(木)	理事の推薦について（退任者補充） 副会長の選定について（退任者補充） 評議員候補者の推薦について（退任者補充） 令和 7 年度第 2 回評議員会の招集について 令和 7 年度第 2 回評議員選任・解任委員会の招集について 委員会委員の指名について 定款施行細則の一部改正について
令和 8 年 3 月 12 日(木)	理事の推薦について 役員等の報酬並びに費用弁償に関する規程の一部改正（案）について 令和 8 年度小山市社会福祉協議会 事業計画（案）について 令和 8 年度小山市社会福祉協議会 資金収支予算（案）について 令和 8 年度における小山市との業務委託契約の締結について 令和 7 年度第 3 回評議員会の開催について 第 5 期小山市地域福祉活動計画（案）について

②評議員会

開催日	議 案
令和 7 年 6 月 30 日(月)	理事及び監事の選任について（次期役員案） 令和 6 年度小山市社会福祉協議会 事業報告について 令和 6 年度小山市社会福祉協議会 決算について 令和 6 年度決算における社会福祉充実計画について 令和 7 年度小山市社会福祉協議会 資金収支補正予算（案）について
令和 8 年 1 月 19 日(月)	理事の選任について（退任者補充）
令和 8 年 3 月 27 日(金)	理事の選任について 役員等の報酬並びに費用弁償に関する規程の一部改正（案）について 令和 7 年度小山市社会福祉協議会 資金収支補正予算（案）について 令和 8 年度小山市社会福祉協議会 事業計画（案）について 令和 8 年度小山市社会福祉協議会 資金収支予算（案）について 第 5 期小山市地域福祉活動計画（案）について

③評議員選任・解任委員会

開催日	協議事項
令和 7 年 7 月 23 日(水)	評議員の選任について
令和 8 年 1 月 20 日(火)	評議員の選任について（退任者補充）

④総務・事業合同委員会

開催日	協議事項
令和 8 年 2 月 16 日(月)	社会福祉功労者表彰及びどんぐり基金・善意銀行感謝状贈呈式並びに 標語コンクール結果報告について 第 5 期小山市地域福祉活動計画（案）について

⑤福祉委員会

開催日	協議事項
令和 8 年 1 月 27 日(火)	第 12 回「ふくし」の標語コンクール優秀作品の選出について 緊急生活一時資金貸付事業の貸付・償還状況及び欠損処分について フードバンクと連携した緊急食料等支援事業について 赤い羽根緊急生活支援商品券支給事業について

⑥広報委員会

開催日	協議事項
令和 7 年 4 月 30 日 (水)	社協だより ふれあい (6 月 1 日号) の掲載記事について 広報委員会開催日変更について
令和 7 年 6 月 13 日 (金)	社協だより ふれあい (6 月 1 日号) の講評 社協だより ふれあい (9 月 1 日号) 掲載記事案の検討
令和 7 年 9 月 8 日 (月)	委員長・副委員長選出 社協だより ふれあい (9 月 1 日号) の講評 社協だより ふれあい (12 月 1 日号) 掲載記事案の検討
令和 7 年 12 月 18 日 (木)	社協だより ふれあい (12 月 1 日号) の講評 社協だより ふれあい (3 月 1 日号) 掲載記事案の検討 令和 8 年度の発行予定及び契約業者について
令和 8 年 3 月 16 日 (月)	社協だより ふれあい (3 月 1 日号) の講評 社協だより ふれあい (6 月 1 日号) 掲載記事案の検討

その他

(1)日本赤十字社事業

日本赤十字社栃木県支部小山市地区として、活動資金募集の募集を行いました。

また、栃木県支部からの地区区分交付金を活用し、血液事業への助成や、広報活動を行った他、火災等で被災された世帯に対して、見舞金等の支給や災害救援物資の支給を行いました。

①活動資金募集実績

目 標 額	実 績 額
16,451,000 円	12,057,580 円

②災害救護活動実績

内 容		実 績	
		件 数	金 額
見舞金	全焼	5 件	100,000 円
	半壊	1 件	10,000.円
死亡弔慰金		0 件	0 円
重症加算		0 件	0 円
毛 布		2 枚	
布 団		2 組	
緊急生活セット		1 セット	

小山市社会福祉協議会善意銀行寄付者・払出先明細（敬称略）

寄付内容			払出先
寄付者	物品名	数量	
ジャパンソルト株式会社	マスク	多数	市内福祉施設（団体）
瀧谷千秋	車椅子	1台	小山市社協（団体）
匿名	エンシュア おしりふき	多数	小山市社協（団体）
匿名	点字盤	1台	小山市社協（団体）
匿名	紙おむつ	3袋	市内福祉施設（団体）
栃木県退職公務員連盟小山支部	タオル	280本	市内福祉施設（団体）
匿名	タオル	120本	市内福祉施設（団体）
匿名	衣類	多数	小山市社協（団体）
スズケングループ労働組合 連合会 ナカノ薬品労働組合	おもちゃ	多数	市内福祉施設（団体）
匿名	紙類 テープ類	多数	市内福祉施設（団体）
匿名	ガーゼ等	多数	小山市社協（団体）
匿名	洗濯用洗剤	多数	市内福祉施設（団体）
匿名	生理用品	1袋	小山市社協（団体）
匿名	食器用洗剤 柔軟剤	多数	市内福祉施設（団体）
友井ドライバーライセンス OYAMA	タオル	560本	市内福祉施設（団体）
鹿島向原自治会	食品	多数	小山市社協（団体）
匿名	衣類	多数	小山市社協（団体）
匿名	洗濯用洗剤	多数	市内福祉施設（団体）
匿名	米	30kg	小山市社協（団体）

匿 名	紙おむつ 衣類	多数	市内福祉施設（団体）
匿 名	シルバーカー	1台	小山市社協（団体）
匿 名	食品	多数	小山市社協（団体）
匿 名	生活用品等	多数	市内福祉施設（団体）
五家英子とみんなで楽しく 踊ろう会小山支部	車椅子	1台	市内福祉施設（団体）
匿 名	米	30kg	小山市社協（団体）
五 家 英 子	車椅子	1台	市内福祉施設（団体）
匿 名	紙おむつ	3袋	市内福祉施設（団体）
匿 名	紙おむつ	3袋	小山市社協（個人）
匿 名	衣類 生活用品	多数	市内福祉施設（団体）
岸 香 子	食品	多数	小山市社協（個人）
匿 名	タオル 生活用品	多数	市内福祉施設（団体）
匿 名	米	30kg	小山市社協（団体）
匿 名	紙おむつ	2袋	小山市社協（団体）
株式会社デンソーテン	おもちゃ等	多数	市内福祉施設（団体）

預託（延）：個人25件、団体9件 計34件

払出（延）：個人2件、団体32件 計34件（払出件数の合計は個人・団体の重複を含む）

令和7年度 地域福祉振興基金（どんぐり基金）寄付受入明細書

令和7年4月1日～令和8年3月31日 単位：円

No.	受 入 年 月 日	金 額	寄 付 者
1	令和7年4月9日	45,380	小山市消費者友の会
2	令和7年4月18日	5,740	株式会社オリジン 間々田工場
3	令和7年4月18日	1,303	株式会社オリジン 間々田工場
4	令和7年4月30日	49,902	宇野音楽院カラオケ教室
5	令和7年4月30日	1,450	匿名
6	令和7年5月20日	1,492	株式会社オリジン 間々田工場
7	令和7年5月27日	18,222	匿名
8	令和7年5月30日	50,000	株式会社マルエツ
9	令和7年6月3日	13,450	匿名
10	令和7年6月11日	300,000	小山市民生委員児童委員協議会
11	令和7年6月20日	1,413	株式会社オリジン 間々田工場
12	令和7年7月18日	6,260	株式会社オリジン 間々田工場
13	令和7年7月18日	1,752	株式会社オリジン 間々田工場
14	令和7年7月23日	53,274	山本 二男
15	令和7年7月29日	100,000	作道 義明
16	令和7年8月20日	1,448	株式会社オリジン 間々田工場
17	令和7年9月12日	114,740	スマイルコンサート
18	令和7年9月19日	1,573	株式会社オリジン 間々田工場
19	令和7年10月20日	9,071	株式会社オリジン 間々田工場
20	令和7年10月20日	1,745	株式会社オリジン 間々田工場
21	令和7年10月27日	8,350	ぬくもり
22	令和7年11月11日	33,369	小山市農業士会
23	令和7年11月19日	430,000	両毛ヤクルト販売株式会社
24	令和7年11月20日	2,040	株式会社オリジン 間々田工場
25	令和7年12月4日	200,000	株式会社レゾナック 小山事業所
26	令和7年12月8日	7,026	匿名
27	令和7年12月9日	100,000	匿名
28	令和7年12月11日	11,367	大関 洋子
29	令和7年12月12日	47,318	オカリナハーモニー歌音
30	令和7年12月12日	44,115	山本 二男
31	令和7年12月15日	84,706	小山市農政対策協議会
32	令和7年12月19日	1,352	株式会社オリジン 間々田工場
33	令和7年12月22日	11,255	学校法人 つぼみKindergarten
34	令和7年12月24日	7,950	御殿町商店会

No.	受 入 年 月 日	金 額	寄 付 者
35	令和7年12月25日	25,005	匿名
36	令和7年12月25日	76,131	小山市仏教会
37	令和7年12月26日	60,000	瀬下 渉
38	令和8年1月13日	30,386	公益社団法人 小山市シルバー人材センター
39	令和8年1月16日	21,096	小山市交響吹奏楽団
40	令和8年1月19日	300,000	全国大陶器市振興組合
41	令和8年1月20日	9,604	株式会社オリジン 間々田工場
42	令和8年2月12日	100,000	アルテミラ株式会社 小山工場
43	令和8年2月16日	40,000	レゾナック労働組合小山支部
44	令和8年2月20日	19,697	株式会社ベルク フォルテ間々田店
45	令和8年2月20日	31,684	青木 徳久
46	令和8年2月25日	4,304	横田 武
47	令和8年2月26日	84,000	小山常陽会
48	令和8年3月6日	17,241	なつかしの童謡会・おやま
49	令和8年3月9日	10,000	コマツ小山工場OB会 グラウンドゴルフクラブ
50	令和8年3月30日	100,000	株式会社大都産業
合計		2,696,211	50件（延べ件数）

事業報告附属明細書

令和7年度事業報告においては、「事業の内容を補足する重要な事項」に該当するものではありません。